

生田校舎に学生侵入

11・13 実験助手との会議粉砕で

二十一日からの授業再開に向けて、ロックアウトを強化中の生田地区では十一、十二日の両日、わたり、生田共闘会議の学生が学内に乱入、二人が逮捕されるなどの騒ぎが起った。

十二日午後二時ごろ、十五、六人のフク面・武装した学生が正門から侵入、守衛所の電話機を壊し、トランシーバーを取り上げ、キャンパス内になだれ込んだ。

そのうち、約半数は対策本部のある新図書館に入り込み、別の一隊は生田寮側のヘイを壊し、外にいた学生を強盗入れ、工学部四時

館の一階を一時占拠した。約二時間後、大学側の要請で機動隊員がかけつけたが、学生はすでに学外に逃げ去った後だった。

十二日は午後一時から工学部会議室で工学部執行部と実験助手との話し合いが行われた。この会談には五七名の実験助手のうち約半数が出席したが、助手共闘はこの話し合いを「授業再開に向けて当局の恫喝だ」として出席を拒んだ。

この会議の粉砕を叫んで、生田共闘会議の学生約一五、六名は学内に侵入、うち三人が会議室に乱入した。この事件で、二人が待機していた私服刑事に逮捕された。しかし、会議は続行され機動隊計画・今後の改革などについて執行部から要請がのべられた。